光ファイバホットストリッパ 取扱説明書



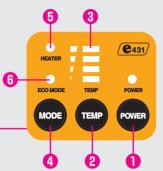
製品説明

光ファイバホットストリッパは、光ファイバーのUV被覆を除去するための工具です。単心~12心テープ光ファイバーの被覆除去ができます。



付属品

- ・光ファイバホットストリッパ
- ・清掃ブラシ・取扱説明書・ACアダプタ
- ・ソフトケース ・レンチ(被覆除去刃の交換に使用します)



- ●: 電源ボタン
- 2: ヒーター温度切替ボタン
- ③: ヒーター温度ランプ
- 4: ECO MODE切替ボタン
- 6: ヒーターランプ
- 6: エコモードランプ

ECO MODE…・・エコモードランプが点灯しているときはエコモードです。上蓋を閉めてから、ヒーターが加熱します。

電池残量…電源をいれてⅠ秒間、③ヒーター温度ランプに 電池の残量が表示されます。

光ファイバの被覆除去方法

デフォルトは<mark>通常モード</mark>になっています。 大量作業の場合は<mark>通常モード、</mark> 待機時間が長い場合はエコモードがおすすめです。

1:電源ボタンを約2秒押して電源を入れます。光ファイバをホルダから30mmほど出して本体にセットし、上蓋・ホルダ台蓋の順番に閉じます。





2:ヒーターランプが点灯していることを確認し、ホルダ台をスライドします。

HEATER ランプ

赤 : 加熱準備中緑(点滅) : 加熱中緑(点灯) : 被覆除去可能

3:蓋を開けてファイバホルダを取り出します。上蓋の裏に残った被覆くずを清掃ブラシ、またはアルコールを含ませた綿棒で取り除いてください。





※取り外し時、光ファイバをぶつけないように注意してください。 ※ヒーター表面は熱くなっているので十分にご注意ください。 ※ヒーター面や押さえゴム部分が汚れていると、被覆除去がきれいにできません。

什 様

| I_ 1% | | | | |
|------------------|--|--|--|--|
| 適用光ファイバ | 石英系ガラスファイバ | | | |
| 適用ファイバ心線数 | 単心~12心 | | | |
| 適用クラッド径 | 125 μm | | | |
| 被覆材質 | UV 硬化樹脂 | | | |
| 適用被覆径(単心) | 0.20 ~ 0.40mm | | | |
| 適用光ファイバー テープ厚 | 0.25 ~ 0.40mm | | | |
| 標準加熱時間 | 通常モード時1秒/エコモード時 ヒーター温度による (加熱温度80℃設定時) | | | |
| 加熱温度設定 | 70、80、90、100℃に切り替え | | | |
| 操作各部スイッチ部 | 電源、温度、Eco | | | |
| 各種ランプ表示部 | 加熱、温度、Eco、電池残量/充電状況 | | | |
| 適応ファイバホルダ | 融着機用 単心~12 心ホルダ | | | |
| 電源 | 本体内蔵バッテリ・付属 AC アダプタ | | | |
| バッテリ | 7.4Vリチウムバッテリー(連続使用:約4時間) | | | |
| 動作環境 | -10℃~40℃/湿度 65%以下(結露無し) ※バッテリ充電時 0~40℃ | | | |
| 保存環境 | -30℃~60℃/湿度65%以下(結露無し) ※長期保存時(バッテリ劣化防止温度):-20~30℃ | | | |
| 外観寸法/質量 | 140(W)×46(D)×28.5(H)mm 324g(バッテリー含む) | | | |

保証書

| 型番 | TKG-HS1 | | | |
|----------|-----------|---|---|---|
| | お名前 | | | 様 |
| お客様 情報 | 住所 〒 | | | |
| | TEL | | | |
| 保証 期間 | ご購入日より1年間 | 年 | 月 | В |

株式会社放送通信機器 e 資材

〒658-0031

神戸市東灘区向洋町東 3-12 ユニエツクス NCT 六甲物流センター TEL: 050-3503-6558

注意と警告

で使用の前に、必ず本取扱説明書をお読みください。本取扱説明書は、大切に保管してください。

安全に関しての説明 ………………………………… 本取扱説明書を読み、安全に関して十分に理解してください。 動作がおかしいときはすぐに使用を中止する ……… 不具合が起こったときは弊社までお問い合わせください。

A リチウムイオン雷池を使用しています。航空輸送をする場合は、運送会社の指示に従ってください。

バッテリは使用していない時も減少します。バッテリの残量が完全 に空になった場合、再充電できないことがあります。使用後は満充 電にしてください。長期間使用しない場合、6か月ごとに充電して ください。最初の数回の充電時間は10時間、一般的な充電時間は 3~4時間です。

使用環境条件

操作時 -10 ~ 40°C 充電時 0 ~ 40℃ 長期保存時(1週間以上): -20 ~ 30°C

バッテリに関して、誤った使用方法は装置破損などにより怪我を負 う危険があります。

- 指定以外の充電器では充電しないでください。
- 直射日光があたるところでは充電しないでください。
- ●バッテリに衝撃を与えないでください。
- バッテリの内部液が漏れた場合、皮膚や目に触れないように十 分に注意してください。皮膚や目に触れてしまった場合、すぐに 専門医に相談してください。

本製品あるいはアダプタに以下の状態が起きた場合は、直ちにAC電源 コードをコンセントプラグあるいは装置側端子から引き抜いてくださ い。万が一装置に異常があった場合、コードを速やかに抜くことがで きる場所で使用してください。そのまま使用すると、装置故障や感電、 火災による怪我の原因となります。

- 異物(例:ネジ)や液体(例:水)が入った。
- 本製品が故障したり、落下させてしまった。
- 発熱、発煙、異音、異臭

このような場合、弊社に連絡してください。

本製品専用のACアダプタを使用してください。他のACアダプタを使用 すると、下記のような装置故障や感電、火災による怪我の原因になります。

- 発電機を使用する際、発電機が故障し、異常高電圧を発生するこ とが多々ありますので、テスター等で出力電圧を測定し、使用範囲 内であることを確認してください。電圧が不安定な状態で使用する と、装置破損、発煙、感電などにより怪我をする危険があります。 発電機は必ず定期的にメンテナンスを行ってください。
- AC200V系(220~240V)の発電機でACアダプタを使用し、 ACアダプタが不具合が起こる場合、発電機から危険な電圧が発生し ていることがあります。

弊社では次のような対処方法をお勧めします。

1: AC220~240V を AC100~120 に変換するため、発電機 とACアダプタとの間に電源変圧器を接続してください。

2: または AC100V 系の発電機を使用してください。

● 本製品およびACアダプタを改造・分解しないでください。安全の ための機構(ヒューズなど)を外したり、バイパスしないでください。 本製品の破損や感電、火災、怪我の危険があります。

発熱機器の近くなど、温度の高い場所やほこりの多い場所では使用し ないでください。装置が結露している場合は絶対に電源を入れないで ください。結露が発生した場合は、室温で1日程度放置したあと電源 を入れてください。

光ファイバの接続準備・作業中は、常に安全メガネを着用してください。 光ファイバの折れた破片が誤って目に入る可能性があります。光ファ イバの破片が皮膚に刺さる場合もありますので、光ファイバ屑の取り 扱いには十分注意してください。

被覆除去刃は鋭利なので、刃先に触れないようにしてください。手を 切る危険があります。特に刃の清掃時には十分に注意してください。

極端に高湿・高温の場所に本製品を保管しないでください。故障の原 因となります。また、長期保管後は本製品に異常がないことを十分に 確認してから通電してください。

不安定な場所に本製品を置かないでください。バランスが崩れて転倒、 落下し、怪我や本製品の故障・破損の原因となります。

本製品は精密な調整がされていますので、強い衝撃を与えないでくだ さい。破損・故障の原因となります。

本製品は油やグリス等の潤滑剤を塗布する必要はございません。潤滑 剤を使用した場合、本製品の機能をかえって低下させたり、破損を招 く場合があります。

本製品に砂やゴミが入らないようにしてください。本製品の機能を低 下させたり、本製品の故障・破損の原因となります。

本製品の使用中、蝶番部分が高温になる場合がありますのでご注意く ださい。長時間触れていると、火傷の原因になります。

で使用中は、ヒーター面およびその周辺が大変熱くなっています。火 傷する危険がありますので触らないようにご注意ください。

ヒーター面および刃に残った被覆屑は、指ではなく必ず清掃用のブラ シを使用して取り除いてください。

被覆除去刃は、正しい位置に専用の刃を取り付ける必要があります。

- 刃の摩擦やさびがある場合は交換する必要があります。
- 被覆除去刃のネジを緩めないでください。

上記が遵守されない場合、本製品の破損・機能低下を引き起こす場合 があります。刃の交換については弊社へお問い合わせください。

本製品の清掃には、アルコール以外の薬品は使用しないでください。 本製品の機能を低下させたり、破損するおそれがあります。

修理は必ずメーカーにご依頼ください。誤った修理は、感電/火災の 原因となり危険です。

この製品を廃棄するときは、本製品を分解して材料別に分別したあと、 地域の廃棄方法に従い各材料を廃棄してください。